

送付資料について（事務局説明要旨）

(1) 資料 1、2 栃木県プラスチック資源循環の推進に関する基本的な指針（案）について

「栃木県プラスチック資源循環の推進に関する基本的な指針（案）」は、資料 2 のとおりです。

なお、令和 2 (2020) 年 1 月 24 日（金）から令和 3 (2021) 年 1 月 4 日（月）まで、「栃木県プラスチック資源循環の推進に関する基本的な指針（素案）」に対するパブリック・コメント（県民意見の募集）を行った結果、意見の提出はありませんでした。

その後、事務局で微修正した点は次のとおりです。

案の頁	位置	素案（旧）	案（新）	摘要
3	17 行目		また、廃棄物の発生抑制や海洋汚染問題への対応は、SDGs「Sustainable Development Goals（持続可能な開発目標）」として、2030 年までに世界が達成すべき目標として位置付けられています。	文言追加
3	18 行目	世界全体の 6 割	世界全体の約 5 割	数値修正
3	24 行目		※3 日本貿易振興機構（JETRO）資料	文言追加
10	11 行目	（2018 年度のボトル to ボトルでリサイクルされた割合は、リサイクルされたペットボトル全体の 1%強）		文言削除
10	下から 1 行目	全うするための <u>重要な</u> 役割を果たす重要な社会インフラが	全うするための役割を果たす重要な社会インフラが	文言修正
21	表 8		「表 8. プラスチック資源循環に関する SDGs の位置付け」を挿入	表挿入

(2) 令和2(2020)年度プラスチックごみ削減対策事業(県)実施結果について

「プラスチックとの上手な付き合い方」に関し、多くの方に自分ができる身近な取組に目を向けていただき、プラスチック資源循環をより一層進めていくための普及啓発事業として、次の3つの事業を実施しました。

○資料3 「さかなクンといっしょに海洋プラスチックごみについて考えよう in 栃木」の開催

栃木県内に在住又は通学する小中学生とその家族を対象に、魚類学者でイラストレーターのさかなクンの講演内容等を令和3(2021)年2月12日よりオンライン限定配信(配信期間は2月25日(木)まで)。

○資料4 「栃木からの森里川湖プラごみゼロ宣言～プラスチックと上手に付き合おう!～」動画の作成・公開

海のプラスチックごみたちが、海ごみの現状や、海や海の生き物のためにどんな取組を行えばよいのか話し合うアニメーション動画を作成し、令和3(2021)年2月12日より下記のYouTube「栃木県チャンネル」で配信。

- ・ロングバージョン(約6分)

URL <https://youtu.be/z2fecI-dMs0> (iPhone, iPad)

URL <https://youtu.be/UQXcq1GyVTQ> (iPhone, iPad 以外)

- ・ショートバージョン(約90秒)

URL <https://youtu.be/1J6k4wLHZ2A> (海洋プラごみの現状と栃木県の取組)

URL <https://youtu.be/ZaatXqyMXYQ> (海洋プラごみが生き物に与える影響と栃木県の取組)

○資料5 なかがわ水遊園における環境学習講座の開催

なかがわ水遊園において親子でエコバッグを作りながら、ごみと海洋汚染との関わりを学ぶ講座を実施(受講者合計226名)。

(3) 令和3(2021)年度プラスチックごみ削減対策事業(県)について

令和3年度は、次の4つの事業を実施します。

○資料6 エコたび栃木プロジェクト [新規]

県内外の小学校の修学旅行をターゲットに、マイバッグやマイボトル、歯ブラシを持参し、食品ロス削減などに取り組む学校を募集し、子どもたちに「環境」や「資源循環」への意識を高めてもらう事業。

○資料7 スポーツGOMI拾い大会開催事業 [新規]

4、5人でチームを作り、1時間で集めたごみの量や種類によってポイントを競い、優勝チームを決めるもので、来年度県内3箇所での大会開催を予定。

○ワンウェイプラ リデュース事業 [新規]

2022年のいちご一会とちぎ国体・とちぎ大会を見据え、大規模なイベントにおいて、紙製食器などプラスチックに代わるものを使い、リサイクルを徹底することにより、プラスチックごみの削減効果を実証。

○環境学習講座(なかがわ水遊園) [継続]